

(1) 2021(令和3)年10月28日発行

国際ロータリー 第2500地区 第4分區
遠軽ロータリークラブ
THE ROTARY CLUB OF ENGARU, AREA 4, RID2500

第3005回例会記録

日時：2021年10月21日(木)12:30～

会場：ホテルサンシャイン 2F

司会：渡辺 政俊 副SAA

★開 会 点 鐘：本間克明会長

★国 歌：ー

★R ソ ン グ：手に手つないで

★四つのテスト：ー



奉仕しよう
みんなの人生を豊かにするために

<経済と地域社会の発展月間月間(米山月間)>

2021~2022 Weekly Report No.12

10月 遠軽高校高橋先生へ職業
28日 奉仕表彰とゲスト卓話
(木)12:30～ 職業奉仕委員会担当

本日のプログラム

会員 前田 篤秀 君
卓話 会員組織委員会 (木)12:30～

11月
4日

次回のプログラム

本間克明会長ターゲット：奉仕活動を通して地域の明るい未来に繋げよう

会長挨拶 本間 克明 会長①

皆さん、こんにちは。

本日のプログラムはゲスト卓話です。遠軽軟式野球連盟遠軽支部理事長であります須藤定行様②にお越しを頂いております。本日は、よろしくお願いいたします。今年は、遠軽RC旗争奪中学校野球新人戦がコロナ感染拡大の影響で開催できず残念でしたが、来年の開催を楽しみにしております。

RI会長からの今月のメッセージを紹介します。

「ロータリーに入会した頃のことをよく思い出します。所属クラブはインドの農村に重点を置いていました。村々では、トイレもなく、人々が水浴びに使う池の水を飲み水に使っていました。近くに診療所はなく治療も受けられません。しかしRCが行った奉仕のプロジェクトのおかげで、村にはトイレが設置され、安全な飲料水が飲めるようになり、人々は近くのヘルスケアセンターに通えるようになりました。ロータリーが私の心に火をつけ、奉仕活動が日常生活の一部となりました。そして『奉仕は地球で暮らすための家賃である』という私の信条にたどり着きました。」このように述べています。RI会長の奉仕の原点が伺い知れました。

またRI会長は「世界ポリオデーである10月24日には、ポリオ根絶に向けたロータリーの偉業とともに喜びましょう。同時に、まだ根絶が実現していないことも忘れてはなりません。皆様の協力がまだ必要です」このように発信をされたところです。

話題が変わります。本日の10月21日は「あかりの日」の記念日であります。1897年のこの日、エジソンが世界で初めて実用的な白熱電球を完成させ、記念日はエジソンの偉業を称えて制定されました。エジソンは白熱電球を実用化しただけではなく、会社を設立し、発電から送電までを含む電力系統の事業化にも成功しております。

そんなエジソンについてのエピソードを紹介します。エジソンの名言に「天才とは99%の努力と1%のひらめきである」というのがあります。この名言により、多くの人が勇気づけられました。努力によってどんなことでも成し遂げ得るのだと。

しかしエジソンが伝えたかったのは、実は「努力する」ことではなく、「ひらめきを大切にすること」でした。ひらめきを大切にしたいエジソン、彼は努力や勤勉さがクローズアップされることに違和感を覚えずにいらなかったといえます。

昨日から、雨が降り続き、急に冷え込んできましたので、皆さん、健康管理に充分気を付けて下さい。



幹事報告 乾 淳 副幹事

1. 昨年度の出席優秀表彰者へのバッジが届く。
10年＝黒坂貴行会員③、20年＝山田莊一会員④。
2. 第2500地区G事務所より、地区大会参加礼状。
3. 「世界ポリオ根絶サミットinD2780」の案内。
10月24日(日)12:30～16:15。YouTube視聴可。
4. ロータリー財団補助金管理セミナー開催案内。
次年度予定者が対象。
5. ロータリー米山スリランカ学友会・初代会長追悼式(Zoom開催)の案内。10月29日(金)20:30～ 21:30。
法話「おかげさまの人生」(日本語)。参加要申請。

委員会報告

◇須藤 順一 出席委員長

地区ガバナー事務所より、2021年6月30日現在で通算出席100%年数が満10年から50年の5年刻みの節目の年に当たる会員へバッジが届いておりますので、本間会長より贈呈致します。(幹事報告参照)

【名前の後の○数字は写真の中の番号】

本日のプログラム ゲスト卓話

少年野球の現状

遠軽軟式野球連盟 遠軽支部

理事長 須藤 定行 様②

只今、ご紹介頂きました須藤です。前任者の横溝前理事長時代から野球連盟の運営活動に際し、多大なるご支援、ご指導を賜り厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

更には、今年で42回を数え最も歴史を積み重ねたロータリークラブ旗争奪中学校野球新人戦の開催にご理解を得ておりましたが、残念ながらコロナ禍のため緊急事態宣言が発せられ、大会中止となりましたが歴代の参加選手はじめ関係者一同感謝申し上げます。次年度です。

○現在の少年野球(中学生・小学生)の現状・加入状況

北海道軟式野球連盟は全道25支部に区分し、6ブロック制とし遠軽はオホーツクブロックになり網走・北見・紋別の4個支部にて運用しております。全道大会出場はそれぞれの支部代表または各ブロック代表による大会となっています。遠軽支部は湧別・佐呂間の各3個連盟です。

今年度は、強豪チームであった中湧別野球少年団チームが昨年度をもって解散して、学童5チーム登録人員90名の登録となっています。

中学は、登録人員75名、今年度5チーム、又、新チーム4チームとなり、単独チームとしては佐呂間中学校・遠軽中学校の2校となっております。遠軽南中学校は八潮布中学校との合同チームで、昨年までは生田原中学校との3校合同チームでした。

○女子の加入状況

平成24年、遠軽において、「遠軽レディーエンジェルス」が結成され、翌年全国日本軟式野球連盟、日本プロ野球機構共催による「第1回ガールズトーナメント2013大会」が新設され「えんがる球場」で予選大会が実施計画されましたが、他チームの準備が整わず予選大会は中止となりましたが、北海道軟式野球連盟の推薦を受け「遠軽・紋別」との合同チームを結成し「オホーツクブルーエンジェルス」として全国大会に参加しています。

その後もオホーツクブロック(網走・北見・紋別・遠軽)は、女子選手の加入が多くチーム名は「オホーツクブルーエンジェルス」を引き継ぎ活動し、現在も網走、北見、紋別、遠軽のオホーツクブロック連絡協議会の登録選手をもって活動しています。

また今年度より遠軽信用金庫様勤務の女性職員さんは、遠軽西ファイターズ・遠軽中学校野球部、そして高校生時代は「やり投げ」の選手として、大好きな野球は遠軽軟式野球連盟のチームに加入し、2019年釧路支部で開催された全道大会に参加し、投手としても試合出場しています。多くの女子選手が育ち、女子高校野球を目指し、札幌へ出向いた選手、遠軽高校ではソフトボールの選手としてそれぞれ活躍しています。学童の部では現在、湧別に2名、佐呂間に1名、特筆事項は今年度「遠軽西ファイターズ」に7名の2年生から4年生の子供達が入団しまして、来年度以降オホーツクブロックの主力選手として活躍を期待されています。

○ロータリークラブ旗の歴史

昭和54年、当時の横溝真理理事長時代に、遠軽中学校及川先生よりの相談で中体連が終了すると中学生の大会が「計画されていない」との話から、関係者のご尽力をいただき翌年から「遠軽ロータリークラブ旗」争奪選手権大会が開催されております。余談ですが、「遠軽青年会議所」後援の大会は今年で39回また、「遠軽ライオンズクラブ」主催の大会は37回です。

○年間の活動状況

学童の大会は、雪解け後、年間11大会で5月連休から遠軽ライオンズクラブ旗争奪選手権大会、えんがる信用金庫杯争奪選手権大会兼ねて高円宮賜杯全道大会遠軽支部予選、全道少年大会、ホクレン旗大会、スタルヒン杯、日ハムU-12大会、道東ブロック大会、太陽グループ杯新人戦、道新旗大会、道新販売所大会、そして新人戦です。

中学校は、雪解け後の最初の大会として、全日本少年中学予選大会、JC旗争奪選手権大会、7月から8月に中体連第1ステージから第2ステージそして全道大会となり、全国大会が実施されています。7月下旬からは新チームとして活動となり、全日本春季大会予選兼ねて北海道選手権その後オホーツク秋季大会、道東ブロック大会があり、2年前の令和元年度に遠軽中学校が全日本春季大会北海道予選にて準優勝しまして、翌年の令和2年3月に中学生の甲子園大会と言われて、「文部科学大臣杯 全日本春季軟式野球大会日本生命トーナメント」に初の全国大会出場を決めたが、コロナ禍より残念ながら大会中止。

この大会から投手の1日100球の投球制限が適用され予選は2日間で1日2試合のリーグ戦、勝ち上がりからトーナメントであり、遠軽中学校は絶対的なエースはおりませんでしたが複数の投手を抱え有利な戦いが出来ると感じていました。

○規則の変更

選手の健康管理策として、全日本軟式野球連盟は中学・学童の投球制限を2011年から投手は1人1日1試合のみ(球数制限はなし。)2012年より、全国大会にてアイシングの方法などを指導・実施しています。

子供の成長期の障害を防ぐために、小学生は2020年度より1日の投球制限が5・6年生は70球、4年生以下は60球の投球制限が設けられています。中学生は今年度より1日100球1週間で350球の投球制限が同じく設けられました。

遠軽支部においては1日1試合を基準に日程を設け、投球球数を管理しています。当然、投球球数を越えた選手はWヘッターの場合は投手としては出場していません。

問題点は、練習試合をコントロールできないことです。障がい発生リスクを理解して頂けるよう問題提起しています。

○軟式野球連盟一般の部の現状

中学生・小学生の環境を取り巻く上で欠かせないのが、一般の大人のチームです。令和3年度登録チームは14チームとなり、最盛期が48チームありました。チーム数は少しずつ減少しており、年々年齢層が上がっていますが、幼少期より好きな野球を楽しむ実践しています。

結びになりますが、軟式野球各指導者・父母の皆様には少年野球のあり方の変化・子供達が高校野球また社会人になってからの野球に楽しく向き合うことができるよう少しずつ発信していきたいと考えています。

遠軽ロータリークラブ会員の皆様には改めて、今年度のお礼と次年度以降のさらなるお力添えをお願いいたしまして、軟式野球連盟一同に代わりまして御礼申し上げます。

【紙数の都合上卓話原稿を抜粋、敬語表現を崩しています】

ニコニコBOX 長嶋 宏明 親睦活動委員

長嶋宏明君 誕生日 5,000円
長嶋宏明君 無断欠席 2,000円

2021-22年度合計234,000円

☆閉会点鐘：本間克明会長☆今月会報：本前信之委員

2021-22_12th-03

出席報告	例会日	会員数	出席計算 会員数	出席者数	メイク アップ	出席率	無断欠席	編集・発行：メディア委員会
須藤順一	10月14日	41	38	25	5	79.0%		委員長：東海林勉 副委員長：乾 淳
出席委員長	10月21日	41	38	24		63.2%		委員：上田 稔 佐藤直也 西 清治 加藤幸徳 本前信之

2021-2022年度 国際ロータリー

会長：シェカール・メータ(インド)

第2500地区ガバナー 漆崎 隆(釧路ベイRC)

第4分区分ガバナー補佐 中津 一夫(滝上RC)

遠軽ロータリークラブ www.engaru-rc.com

会長：本間克明 副会長：黒坂貴行

会長エレクト：高井一博 幹事：高橋義昭

会計：上田 稔 S A A：前島英樹

直前会長：島田光隆 事務局員：岡本奈津美

◇1959年9月12日創立/1959年11月7日認証

【事務局】〒099-0415 北海道紋別郡遠軽町岩見通南2丁目 遠軽商工会議所内

Tel 0158-42-5201 Fax 42-5134 E-mail: info@engaru-rc.com

【例会場/日】北海道紋別郡遠軽町大通北1丁目 ホテルサンシャイン Tel 0158-

42-1151 毎週木曜日12:30～13:30 *第3木曜日は夜間例会 18:00～(19:00)

